

授業科目	国際協力論	1～2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択必修

科目担当責任者	(野本啓介) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	佐々木泰史 (教育研究施設 8F 生物学教授室) e-mail : yasushi@sapmed. ac. jp
担当教員			
概要	現代の世界において、開発途上国は国の数で約4分の3、人口で3分の2以上を占めている。その多くは紛争や貧困といった政治・経済面での困難な問題を抱えており、衛生状態の悪化、感染症の蔓延、環境破壊などによって当該国の人々の健康が脅かされている。また、国境を越えた人・物・情報の流れが急激に増加・加速するグローバル化を背景に、これら途上国における問題は世界中の人々の健康にも不安を与えている。本科目では、グローバル社会の一員として開発途上国を支援し、世界のすべての人々がより良く生きられる未来を目指す国際協力について、基本的な概念や仕組み、国際協力政策の変遷、国際機関・先進国・NGOなどの役割と支援・活動などについて学ぶ。		
到達目標	1. 開発途上国の現状や抱える諸課題について、その背景や意味を含めて説明できる。 2. 開発途上国を支援する国際協力の内容や意義について説明できるとともに、自分の意見を持ち発表する。		
関連科目	国際関係論、社会学概論、文化人類学、国際保健医療・看護		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業中の学習状況	50%	授業中の学習状況は、発言、質問、および授業後に提出するコメントカードの内容を評価対象とする。
	レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	開発途上国の現状と課題 経済面・社会面・政治面 諸問題の複雑なつながり・絡まり 途上国自身による取り組みと限界	事後：授業内容を振り返り復習	講義	(野本)
2	国際協力の歴史 国際協力の基本的概念・仕組み 経済協力から開発協力、国際協力へ 国際政治経済情勢と国際協力の変容	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
3	国際協力のアクター 国際機関、政府・援助実施機関、NGO、民間企業	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
4	日本の国際協力政策 歴史的経緯、他先進国との比較・特徴、重点地域・分野	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
5	国際協力の新たな課題 グローバル社会の新たな課題 人間の安全保障・平和構築 MDGs(ミレニアム開発目標)からSDGs(持続可能な開発目標)	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
6	保健医療分野の国際協力 保健医療分野の特徴 具体例(日本政府、国連・国際機関、民間レベル)	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃

7	時事問題・ケーススタディ	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃
8	まとめ	事前：指示された資料等を読んで予習 事後：授業内容を振り返り復習	〃	〃